

美肌にこだわる男子 「20代男性のスキンケア」その意識と実態

生活者研究センター
主任研究員 青木 基

たっぷりの泡でやさしく洗顔し、洗ったら化粧水をつける—近年、20代男性のスキンケア行動が女性に近づいてきています。彼ら「美肌にこだわる男子」は、どのようなスキンケア意識を持ち、なぜ「肌がきれい」であることにこだわるのでしょうか。本レポートでは、20代男性のスキンケアに対する行動変化とその背景についてご報告します。

調査結果の概要

● 20代男性の約半数が、スキンケアに気をつけています

- ・20代男性の化粧水・乳液・美容液のいずれかの使用者は、48%。
- ・従来からのアブラ、ベタつきだけでなく、乾燥、かさつきにも敏感。ハリをはじめとするアンチエイジング対策までこだわる人も。
- ・「スキンケア」だけでなく、「服装・髪型・体型」までトータルに気を配っている。

● スキンケアをする理由は「人から評価されたい」と「今の若さを維持したい」

- ・スキンケアをする理由は、印象を良くして「人から評価されたい」という欲求と、「今の若さを維持したい」の大きく2つ。
- ・彼らの彼女や妻も、「肌はきれいな方がいい」「肌がきれいだと仕事がデキる人に見られそう」と彼らのスキンケア行動を積極的に応援。

● スキンケアを行う男性が増えてきた社会背景とは？

- ・「男は男らしく」という意識が希薄な世代で、女性の行動を“自分事”として素直に取り入れる。
- ・先行きが不透明な時代にあって、内面や実力だけでなく、外見や印象も良くしておきたい。

● 今日から始める、メンズ・スキンケア

- ・9割以上の方が、「きれいな肌の方が印象が良い」とスキンケアのメリットを評価。
- ・「ベタつくのに乾燥する」という肌意識を持つ男性のスキンケアは、丁寧な洗顔としっかりした保湿がポイント。

【調査概要】

「20代男性の美容意識と実態」

調査期間：2011年5月～6月

調査方法：インタビュー調査

調査対象：首都圏在住の20代男性、対象者の彼女・妻

回答者数：20代男性 12人、対象者の彼女・妻 6人

調査期間：2011年10月

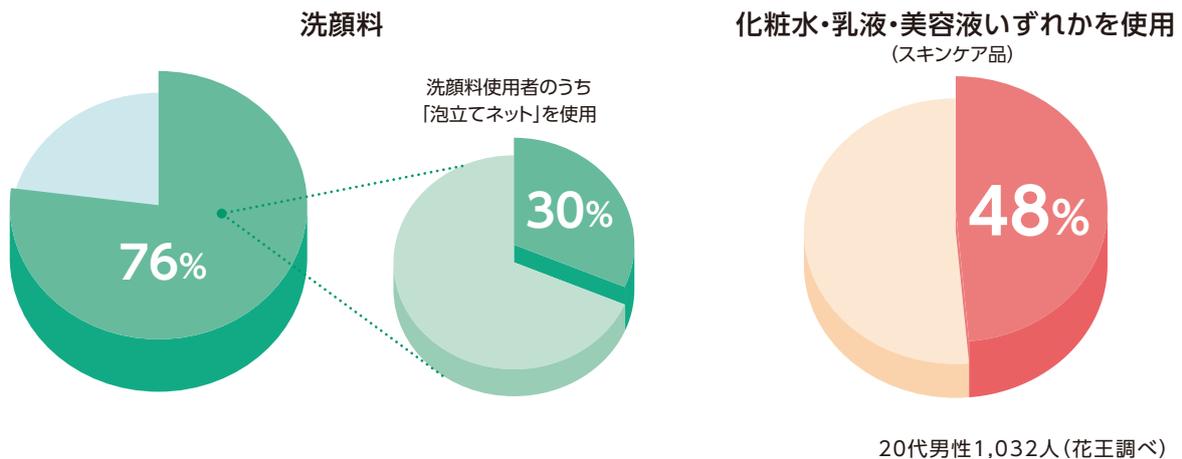
調査方法：インターネット調査

調査対象：首都圏在住の20代男性

回答者数：20代男性 1,032人

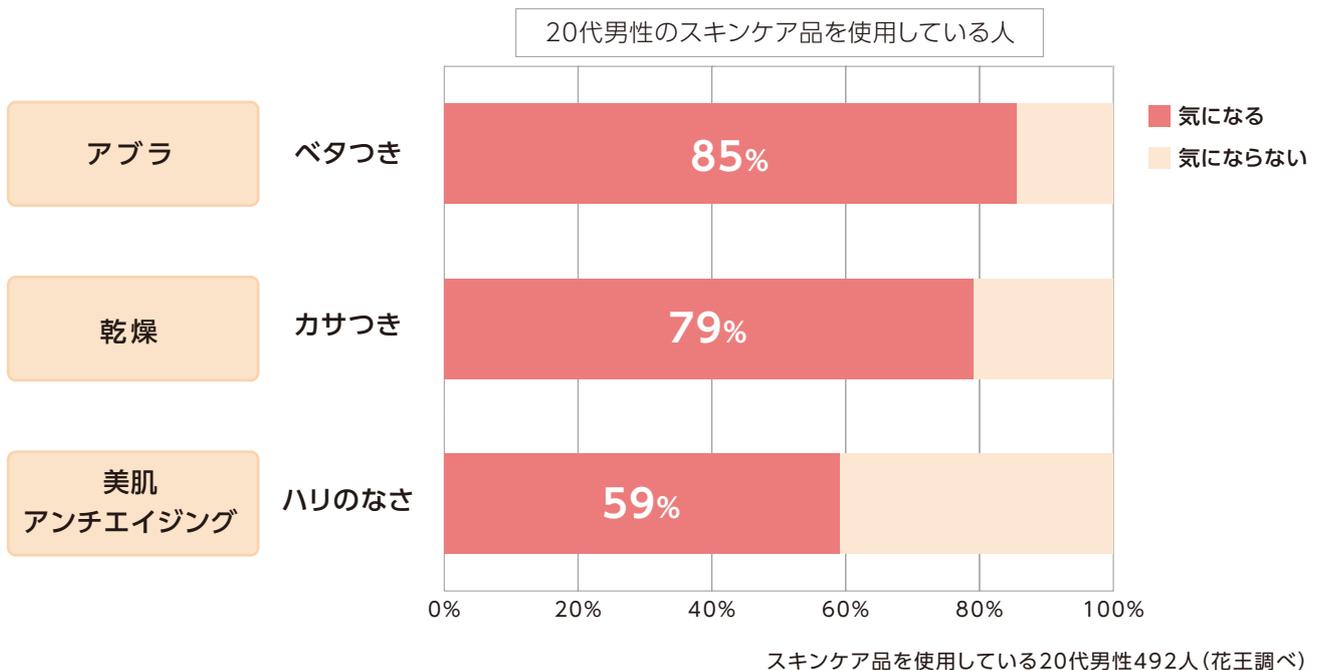
20代男性の約半数が、スキンケアに気をつけています

20代男性では、洗顔料を使って顔を洗うのは当たり前、そのうち30%の人が泡立てネットも使用しているほどです。さらに最近では、洗顔料やアフターシェーブローション以外のスキンケア品の使用率も増加しています。化粧水、乳液、美容液のいずれかを使っている20代男性は48%と、約半数がスキンケアに気をつけていることがわかりました（図1）。



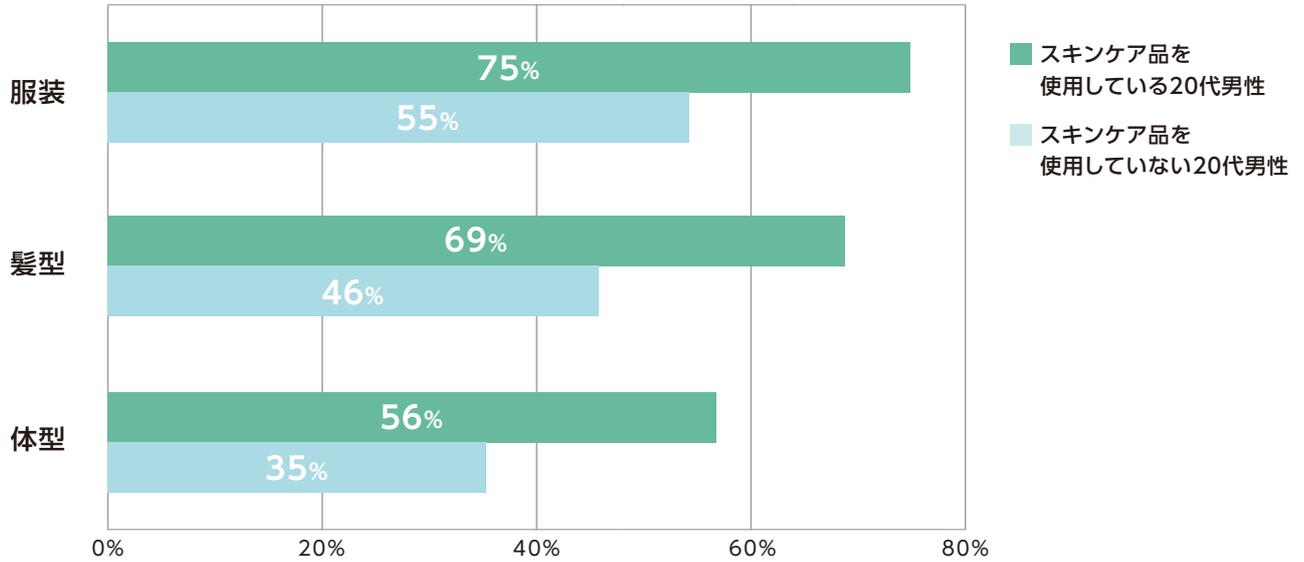
(図1)20代男性の主なスキンケア品の使用率

スキンケアをしている(=スキンケア品を使用している)20代男性は、全般に高い肌意識をもっています。「肌のベタつき」を気にする人は85%と、もともと多いのですが、彼らに顕著なのは「肌の乾燥」にも敏感であること(79%)。59%の人は「肌のハリ」などアンチエイジングまで気にしており、肌の状態への強いこだわりがうかがえました(図2)。



(図2) 普段の顔の肌の状態について、どれくらい気になっているか

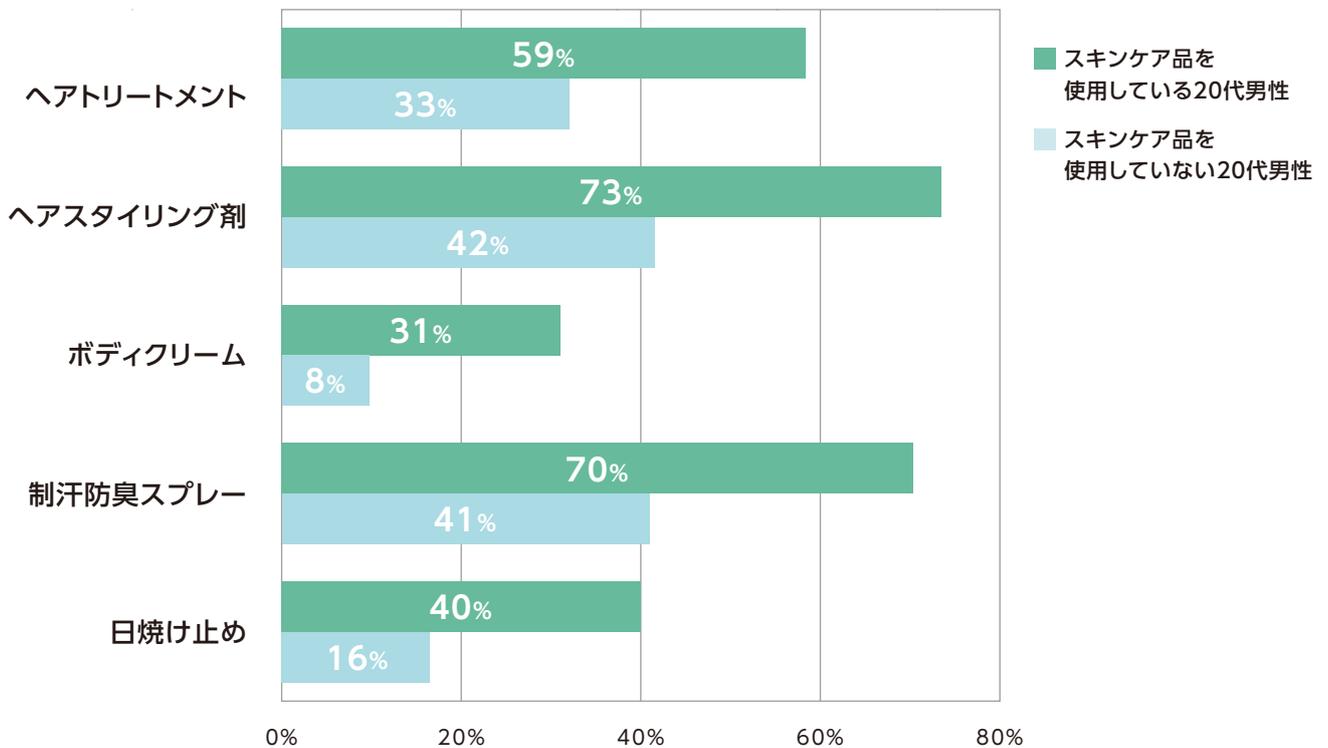
スキンケアをしている20代男性は、していない人に比べて、「肌のお手入れ」だけでなく、「服装・髪型・体型」まで、トータルに気をつけていることがわかります(図3)。



スキンケア品を使用している20代男性 492人 / スキンケア品を使用していない20代男性 540人(花王調べ)

(図3) おしゃれや身だしなみで気を配っていること

また、スキンケアをしている20代男性は、ヘアトリートメント、ヘアスタイリング剤、ボディクリーム、制汗防臭スプレー、日焼け止め等、多くの美容商品を使用しており、身だしなみ全般に細かく気を配っている様子が見られました(図4)。



スキンケア品を使用している20代男性 492人 / スキンケア品を使用していない20代男性 540人(花王調べ)

(図4) 1年間に使用した美容商品

スキンケアをする理由は、 「人から評価されたい」と「今の若さを維持したい」

20代男性にはスキンケアをする理由を、その彼女や妻には彼らのスキンケア行動をどう受け止めているのかをヒアリングしてみました。

理由1 人から評価されたい

仕事で認められたい、女性にモテたいなど、「人から評価されたい」という思いが、スキンケアをする大きなモチベーションになっていました。「マイナス面を少しでも減らして、印象良く見られたい」、「セルフコントロールができていないと思われたくない」といった気持ちが、スキンケアに向かわせているようです。

仕事などで認められたい



きっちりしている人だと思われた方が、相手に安心感を与えられる。

Aさん(26歳)



ニキビがあると、「だらしない生活をしているんだろうなあ」と見られてしまいそう。

Iさん(25歳)

モテたい



見た目は大事。人はルックスを含めて評価する。髪型・服装も大事だけど、顔周辺はとくに大事。

Mさん(26歳)



女子の評価が気になる。第一印象は、見た目が9割らしいし…。

Hさん(22歳)

理由2 今の若さを維持したい

一方、他人の評価ではなく、「自己実現・自己満足」のためであるケースも。従来は女性的とみられていた「きれいでありたい」、「若々しくありたい」という動機から、スキンケアに取り組む男性も登場してきています。

上司に若々しい人がいる。なぜかと思って観察していたら、肌がきれいだった。

Kさん(29歳)



彼女や妻も、彼らのスキンケア行動を積極的に応援

彼らのスキンケア行動に対して、彼女や妻も「男性も肌はきれいな方がいい」と積極的に応援。美容に関する情報提供やケアのアドバイスを、後押ししています。



かわいい感じの男性が好き。肌もきれいな方がいい。

Rさん(24歳)



肌がきれいだと、仕事ができる人に見られそう。だから、いろんなケアを勧めている。

Sさん(22歳)



泡立てネットの使い方は、彼女から教わったという男性も

スキンケアを行う男性が増えてきた社会背景とは？

こうしたスキンケアをする若い男性の増加には、どんな社会背景が関わっているのでしょうか。その世代特性を考察してみました。

考察1 女性の行動も、素直に取り入れる

スキンケアをする20代男性は、「彼女の肌はきれい。自分もあんな肌になりたい」と、女性の行動を“自分事”として、素直に取り入れています。“男は男らしく”という価値観が希薄な世代といえます。母親はおしゃれなライフスタイルを牽引してきた“Hanako世代^{*}”で、友達感覚の母親から、ケアのアドバイスを受けることもあるようです。 ^{*}Hanako世代:1959～1964年生まれの女性。1988年創刊の雑誌「Hanako」の読者世代でバブル期の消費を牽引。



妻の肌はきれい。
妻のようにケアすると
自分の肌も良くなるかな。

Kさん(29歳)



彼女の肌がきれいなので、
できる限り彼女と
同じことをしている。

Hさん(22歳)



男でも女でも、
良いと思えばやればいい。

Mさん(26歳)



見た目を磨くのは、
女性でも男性でも良いこと。

Nさん(22歳)

考察2 先行き不透明な時代、外見・印象も大事

やや景気の持ち直しが伝えられるものの、まだまだ先行き不透明な時代。20代男性にとって、厳しい就労環境は他人事ではありません。その危機意識から、彼らは内面や実力だけでなく、外見や印象も良くしておきたいと考えています。スキンケアは単なる肌トラブル対策だけでなく、自分に自信を持ち、地力をつけるための手段でもあるのです。



派遣問題は他人事とは思わない。そうならないように何とかしたい。

Mさん(26歳)



リーマンショック後で
就職活動は苦労した。
いつどうなるか分からないから、
スキルは身につけていきたい。

Sさん(23歳)



卒業する頃には
内定切りが始めた。
就職活動は相当厳しかった。

Nさん(24歳)



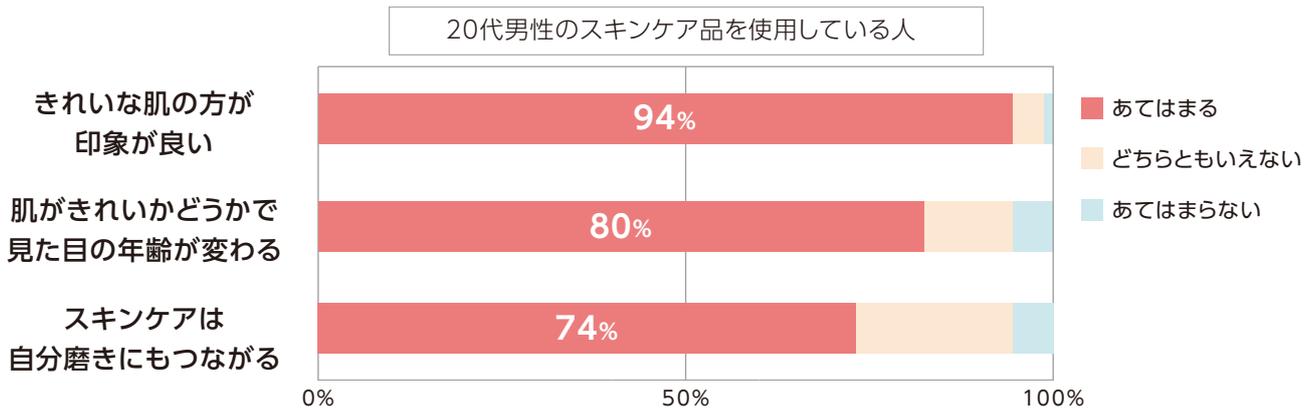
もちろん第一希望の会社に入れたわけじゃない。
ここからがスタート。

Iさん(25歳)

今日から始める、メンズ・スキンケア

スキンケアをする20代男性は、きれいな肌になることに、どんなメリットを感じているのでしょうか。「きれいな肌の方が印象が良い」が9割以上。「肌がきれいかどうかで見た目の年齢が変わる」や「スキンケアは、自分磨きにもつながる」までもが、7～8割と高いことがわかりました(図5)。

スキンケアが、男性の間で、自分の価値を高める手段として評価され始めています。



スキンケア品を使用している20代男性 492人(花王調べ)

(図5)肌への意識・肌へのこだわりについて

スキンケアを始める人は、男性の肌に合った丁寧な洗顔と、しっかりとした保湿を心がけましょう。「ベタつくのに乾燥する」という男性特有の肌意識や悩みの解消におすすめです。

【男性の肌にこそ、適切な洗顔と保湿がポイント】

男性の肌は、思春期頃から皮脂の分泌量が急速に増加し、その後ほとんど減りません。Tゾーンはベタつき、ほおからあごにかけてのUゾーンはシェービングにより乾燥しやすくなります。

洗顔のポイント

- ・まずは水やぬるま湯で洗い、その後洗顔料をしっかりと泡立て、指先でやさしく洗います。
- ・よくすすいだら、タオルでやさしく肌をおさえるようにして水分をふき取ります。
- ☆朝晩の1日2回行います。

保湿のポイント

- ・化粧水を適量手のひらにとり、顔の中心から外側へ向け、すべらせるようにつけます。
- ・つっぱりを感じる部分には、とくに念入りにつけます。

☆化粧水は、女性用のものを使ってもかまいません。乾燥が気になる人は、乳液タイプのもを使用するとよいでしょう。

☆紫外線は肌に悪影響を及ぼします。紫外線を防ぐケアも忘れずに取り入れましょう。



●お問い合わせ・ご意見は **花王株式会社 生活者研究センター**

〒131-8501 東京都墨田区文花 2-1-3 TEL. 03-5630-9963(月～金 9:00～17:00) FAX.03-5630-9584

くらしの研究 <http://www.kao.co.jp/lifei/>

※掲載の記事・写真の無断掲載・複写を禁じます。